

笹川保健財団 地域啓発活動助成

助成番号：2021-006

2022年 3月 7日

公益財団法人 笹川保健財団

会長 喜多悦子 殿

2021年度地域啓発活動助成
活動報告書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

医療従事者と共に「お灸のセルフケア」を学ぶ場をつくる

活動者（助成申請者）名： 岩橋 麻子

1. 活動の内容・実施経過

【お灸教室】

■ 2021年10月24日（日）better LIFE ～鍼灸師による女性のための養生イベント～

参加者：4名（現地参加者4名） ※スタッフ：6名（広島の開業鍼灸師4名）

広島大学病院の程近く、広島市内で開業する女性鍼灸師の企画した養生イベントにボランティア参加した。秋の養生について、鍼灸の古典を読み実践する講習部分を担当した。今後広島県内でお灸の普及活動を推進するためには、学内では鍼灸師が足りないことが問題となっている。これを解決し、地元の鍼灸学校の先生や、質の高い開業鍼灸師と新たにネットワークを形成し、より地域に密着し患者サポートを提供できる環境作りを目指している。



■ 2021年11月19日（金）

医療法人社団曙会シムラ病院 院内お灸体験教室

参加者：現地参加者18名

※スタッフ：3名

広島大学病院から自転車で20分という近距離にある、シムラ病院でお灸教室を実施することができた。参加者は理学療法士や、作業療法士、看護師、医師であり、「日頃から患者さんのケアはしているが、なかなか自分のケアはできない。」「もっと学んでみたい。」「患者さんのケアに活かせる気がする。」などという感想が多く聞かれ大変好評だった。



■ 2021年12月7日(月) メリイ西風新都(介護付き有料老人ホーム) お灸教室



参加者：現地参加者 23名

※スタッフ：3名

メリイホスピタルで以前お灸教室をさせて頂いたことがご縁で、メリイ西風新都でもお灸教室を行う事ができた。参加者は施設の入居者が多く、「自分の症状にはどのつぼが良いか？」と興味を持ち、その表情はとても真剣だった。



■ 2021年2月 冊子「セルフケアに活かすお灸の上手な使い方」作成



計画していたお灸教室が、再びの感染拡大により、延期を繰り返し、結果として中止となってしまった。既に20名以上の予約が入っていたこともあり、ご縁のあった予約者に何かできる事は無いかと考え、冊子を作製した。2月中に完成したものの配布までは至らなかったため、今後は上記の方々や、患者さんたちに配布していく。



2. 活動の成果

お灸教室を開催したことでメリィホスピタルの社内報に載せて頂くなど、社内の多くの方にこの活動をご理解頂き、その後グループのメリィ西風新都でお灸の研究実施が可能になった。コロナウイルスの流行が一段落している間に対面での教室を行い、このように成果を挙げられたことは大変喜ばしいことであった。今後、患者さんに鍼灸を広めていくためには研究で成果を上げていく事も欠かせないため、この教室の質を高めるとい意味でも、この成果は大きいものであった。

3. 今後の課題

コロナ禍において患者さん個人個人にこの活動を届けていくためには、対面でなくとも理解しやすいことが大事である。コロナが収まってきたときには、つい対面での教室開催を優先してしまうが、鍼灸の場合は、動画撮影をするにも最低 2 人の協力者が必要になる。今後の活動では、より多くの世代に参加してもらうため、対面でのお灸教室と、WEB をバランスよく設定していきたいと考えている

4. 活動の成果等の公表予定

現在のところ発表を行う予定は無い。